

# NEWJEC TIMES 第7号



## TOPICS

入社식을執り行いました！

- ▶ 組織変更のご案内
- ▶ 受賞、表彰一覧
- ▶ 社内イベント他のご紹介
- ▶ 技術紹介
  - 地球環境グループ 「ニュージェックの森づくり」
  - 送配電グループ 「長大橋梁への添架・電力ケーブルオフセット設計」
  - 建築グループ 「相楽中部消防組合消防本部」

株式会社 **ニュージェック**

## 入社式を執り行いました！

今回は、入社式や研修の様子などを簡単にご紹介します ♡



山林社長による祝辞



集合写真



決意表明

### ▶入社式！

4月1日に入社式を執り行いました！

当日は、山林社長より「共創と共感—モノづくりの世界へようこそ」と題した祝辞が贈られました。祝辞では、「後世まで愛される建造物には物語があること、また、語り継がれる建造物は、創る側と使う側、また影響を受ける方々など関係する全ての人々との、はてしない共感性によってつくられていること」との考えが述べられました。

祝辞の後には、代表者2名による力強い決意表明が行われ、会場からは温かい拍手が贈られました！

### ▶日々、研修を頑張っています！

新入社員の皆さんは、約3か月間の研修を受講後、各部署へ配属される予定です。

研修期間中は、新中期経営計画や理念体系の説明をはじめ、統括・役員との懇談会、ビジスマナー研修、各グループの業務内容に関する研修、BIM/CIM研修など、様々なプログラムを実施しています！

皆さんのこれからの活躍が楽しみです！ ♡

### 研修の様子



安威川ダム見学



BIM/CIM研修



河川グループ研修

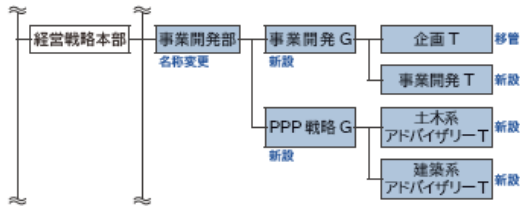


懇談会

# 組織変更

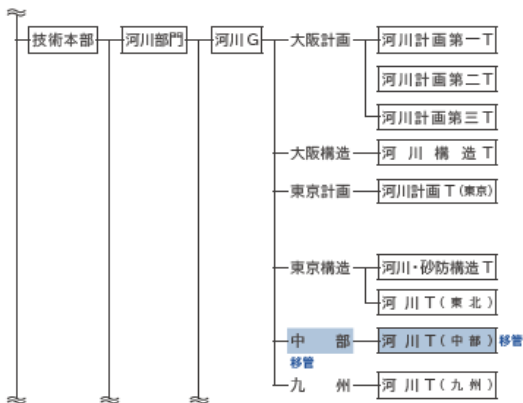
## ▶事業開発部（旧 新規事業開発部）

新規事業開発部を「事業開発部」に改称し、「事業開発グループ」と「PPP 戦略グループ」を新設します。あわせて、事業開発グループには「企画 T」「事業開発 T」、PPP 戦略グループには「土木系アドバイザーチーム」「建築系アドバイザーチーム」を設置します。



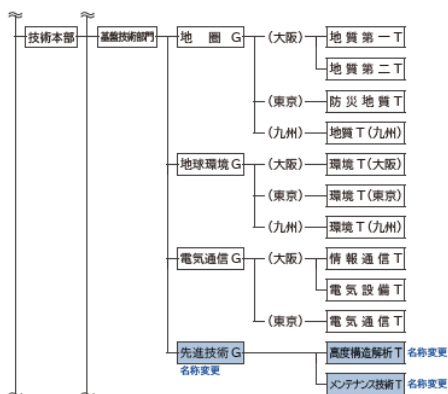
## ▶河川グループ

「中部河川グループ」を新設し、「東京計画グループ河川チーム（中部）」を移管します。



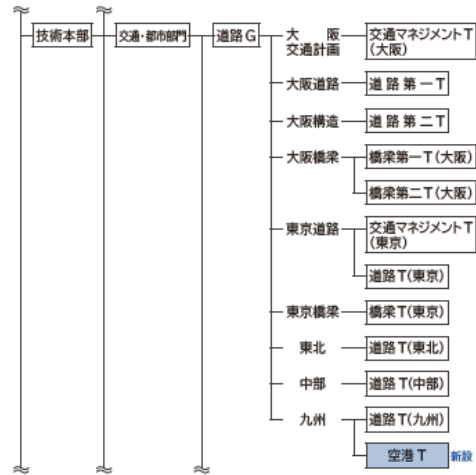
## ▶先進技術グループ（旧 基盤技術グループ）

「基盤技術グループ」を「先進技術グループ」に改称し、「耐震・解析チーム」を「高度構造解析チーム」に、「コンクリート技術チーム」を「メンテナンス技術チーム」に改称します。



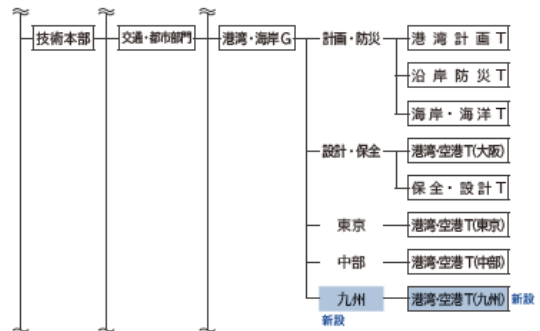
## ▶道路グループ

九州道路グループに「空港チーム」を新設します。



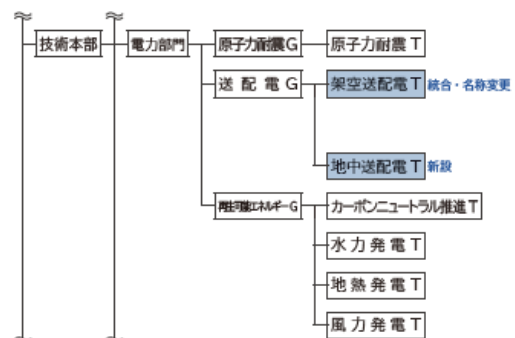
## ▶港湾・海岸グループ

港湾・海岸グループに「港湾・海岸グループ（九州）」と「港湾・空港チーム（九州）」を新設します。



## ▶送配電グループ

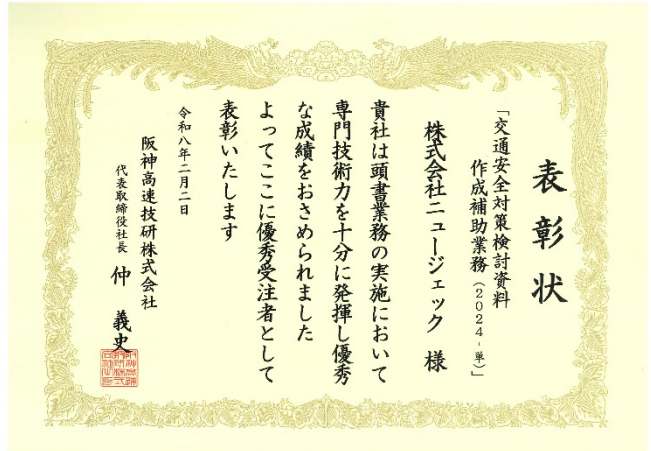
送配電グループ内の既存のチームを統合し、「架空送配電チーム」に改称します。また、「地中送配電チーム」を新設します。



# 受賞・表彰

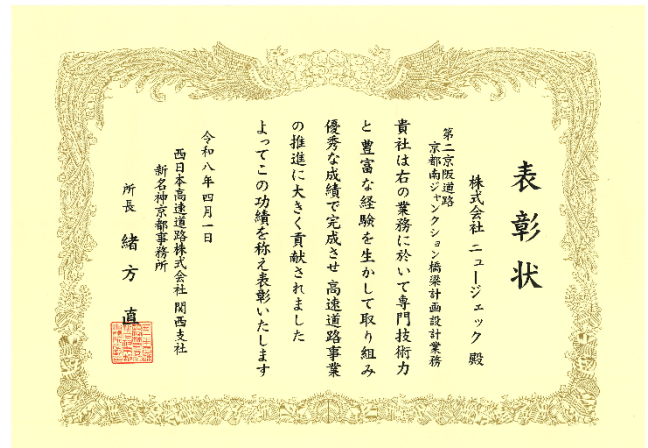
## 優秀業務受注者表彰

受賞日：2026年2月2日  
件名：交通安全対策検討資料作成補助業務  
(2024-単)  
発注者：阪神高速技研株式会社



## 事務所長表彰

受賞日：2026年4月1日  
件名：第二京阪道路 京都南ジャンクション  
橋梁計画設計業務  
発注者：西日本高速道路株式会社 関西支社



2017~2025年の業務表彰一覧はこちら

[https://www.newjec.co.jp/about/award\\_r07.html](https://www.newjec.co.jp/about/award_r07.html)

# 社内イベント他のご紹介！

## ▶第63回定時株主総会

2026年3月27日（金）、大阪本社8階会議室にて第63回定時株主総会が開催され、次期役員体制が承認されました。

新役員体制と担務は下表のとおりです。

役職	氏名	担務
代表取締役社長	山林 佳弘	
常務取締役	殿最 浩司	技術本部長
取締役	渡辺 俊一	総務本部長 コンプライアンス室 担当
取締役	井根 健	国内営業本部長技術 本部副本部長
取締役	五十嵐 徹	国際事業本部長国際 事業本部長代理
取締役	西村 壮介	経営戦略本部長
監査役	北川 有	

## ▶ホームページをリニューアルしました！

コーポレートサイトのデザインを刷新しました！

新中期経営計画の策定に加え、前回のリニューアルから5年が経過したことを踏まえ、2026年は見直しの好機と捉え、構成およびデザインの全面的な刷新を実施しました。

なお、2026年5月時点ではコーポレートサイトのみでのリニューアルとなっており、リクルートサイトを含む全体のリニューアルは、同年9月頃の完了を予定しています。



## ▶中学生の皆さんが弊社に来社されました！

4月16日に金沢市立中学校の8名が、修学旅行にあわせて、キャリア学習の一環として弊社に来社されました。当日は会社概要の説明と、DX推進グループのご協力のもと、水空ドローンの紹介やミニドローン操作体験等を実施しました！



## ▶防災教育出前講座を実施しました！

2026年2月から4月にかけて4件の防災教育出前講座を実施しました。

★詳細はこちら→[防災教育出前講座 取り組み](#)



無印良品グランフロント大阪  
いつものもしもキャラバン



北区ふくし防災フェスタ

## ▶YouTube 動画更新中！

国際技術グループ所属のデニスさんに密着した動画を公開しました！

海外で働く様子等を紹介しています。是非ご覧ください！



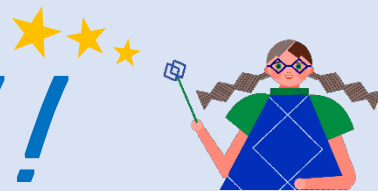
★視聴はこちら→[YouTube](#)

## ▶東京本社執務室をリニューアルしました！

執務室の環境整備の一環として、東京本社の執務室をリニューアルし、5月13日にはリニューアルセレモニーを実施しました💎



リニューアル後の  
エントランス →



## 第13弾は…ニュージェットの森づくり

特設ページはこちら↓

[ニュージェットの森づくり](#)



### 基本情報

場所…大阪府河内長野市鳩原

業務を行った(業務に関わった)グループ

…地球環境、経営企画、DX推進など



#### ▶業務内容

活動地 3.8ha において、令和 6~7 年に森林整備前の動植物調査、毎木調査を実施し、活動地内の森林整備に向けた具体的なゾーニング計画を検討しました。その後、広葉樹林転換にむけて、令和 7 年 12 月に 0.15ha の伐採を行いました。また、今後、間伐、下草刈りなどの森林整備を継続していく予定です。

#### ▶業務を行う背景と目的

弊社では、2050 年ビジョンとして「共に広げ合い “自然と” 生きられる社会を世界に」を掲げており、環境保全・自然再生への取り組みは重

要な課題と考えています。そのため、大阪府河内長野市鳩原地内の植林地において、多様な生物が生息・生育する森への転換を目指して森林整備活動を実施しています。

#### ▶業務を進めるうえで工夫した点やポイント！

大阪府の「アドプトフォレスト制度」を活用しました！これにより、令和 6 年 10 月から森づくり活動を開始しました。

#### ▶この業務によって、社会に貢献できた、またはできそうな成果は？

広葉樹の育つ生物多様性の豊かな森への転換により、グリーンインフラ機能が向上し、森林環境の保全や地球温暖化防止、水循環機能の向上、脱炭素社会の実現など様々な社会貢献が期待できます！！

※ゾーニング計画 …エリア分けの計画

※伐採(ばっさい) …森の木を切ること

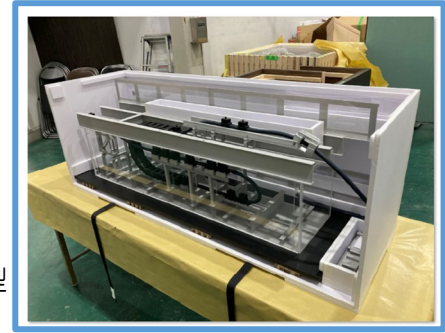
※間伐(かんばつ) …森の木を一部だけ間引いて切ること



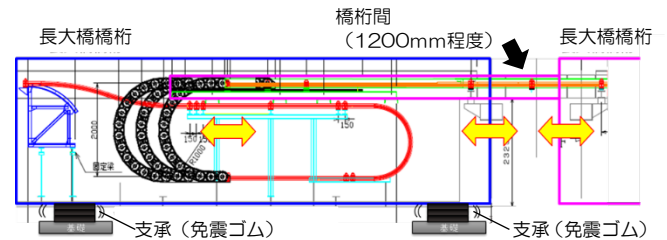
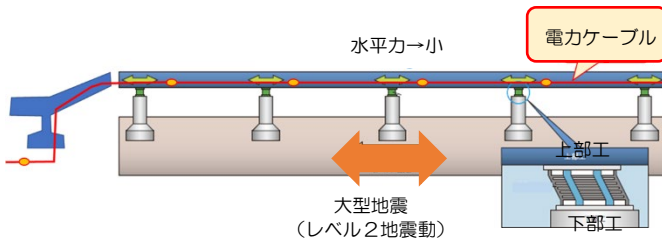
## 第14弾は…長大橋梁への添架・電力ケーブルオフセット設計



関西国際空港連絡橋



縮約模型



ケーブル伸縮吸収機構 (イメージ)

### 基本情報

場所…関西国際空港連絡橋

業務を行った(業務に関わった)グループ

…送配電グループ



#### ▶業務内容

地震等に伴う橋梁の挙動による添架・電力ケーブルへの影響(最大変位)を見積もるとともに、この変位を吸収可能とするケーブルオフセット設計を行いました。

#### ▶業務を行う背景と目的

関西国際空港連絡橋の免振化に伴って、橋梁区間の地震等に対する挙動変化が想定され、従来設計では、これに伴うケーブルの変位を吸収しきれないのではないかと懸念されたことから、オフセット設計(ケーブル伸縮吸収機構)を見直すこととなりました。

#### ▶業務を進めるうえで工夫した点やポイント!

橋梁の保守性を阻害しないことを前提に、橋梁内部の限られたスペース、重量制限などの厳しい制約の中、検討を重ねました。また、伸縮吸収機構の構造決定においては、縮約模型を製作し、性能検証を行い、設計の妥当性を確認しました。なお、今回装置は既存技術の転用であり、軽量(樹脂製)・コンパクト・安価で簡便な構造であり、装置自身の保守も容易です。

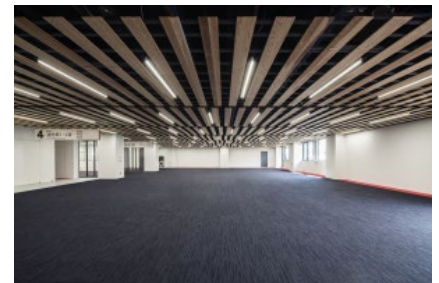
#### ▶この業務によって、社会に貢献できた、またはできそうな成果は?

結果的に、橋梁の変位は従来設計の範囲で吸収可能と判断され、考案した装置は採用されませんでした。しかしながら、今回の取り組みは、電力ケーブルの長大橋梁添架技術の進展に貢献できたものと思います。

※橋梁の挙動(きょどう)…橋に荷重(力)がかかった時の変形や動き  
※添架(てんが)…既存の構造物を利用して別の設備を設置する事



## 第15弾は…相楽中部消防組合消防本部



### ■建物概要

敷地面積：15,476.25㎡ 建築面積：2,834.22㎡  
延床面積：5,587.65㎡ 構造：RC造・S造・SRC造

建築総合誌の月刊「近代建築」  
2026年5月号に掲載中 ✨



### 基本情報

場所…京都府木津川市城山台9-1-2  
業務を行った(業務に関わった)グループ  
…建築グループ



#### ▶業務内容

消防本部(消防署)庁舎の、建設設計と造成や外構などの土木設計を実施しました。

#### ▶業務を行う背景と目的

老朽化や耐震性不足、浸水リスク等の様々な課題を抱えていたことから、これらの課題解決と地域住民の安全・安心な暮らしを守ることを目的として、新庁舎の建設が決定しました。

#### ▶業務を進めるうえで工夫した点やポイント!

「安全安心」、「機能的」、「地域らしさとの調和」を軸に、安心安全で機能的、地域らしさと調

和し、地域住民に長く愛されるシンボルとなる消防庁舎を目指しました!

具体的には、高い耐震・耐火性能と非常用電源によるバックアップ機能等の集約により、非常時に迅速な災害対応を行える安心安全な消防庁舎を整備しました。また、どこからでも迅速に出動できる動線計画を採用したり、福祉面や環境面に配慮したりと、職員にとって使いやすく、住民にとって親しみやすい庁舎としました。さらに、茶畑景観や渋柿染、木材などの地域素材を取り入れ、地域らしさと防災性能を両立したデザインとしました。

#### ▶この業務によって、社会に貢献できた、またはできそうな成果は?

木津川市の新たな防災シンボルとして、地域の未来を守り続けていくことと思います!!